



デリー宝塔に奉納されるお仏舍利さま（2007年1月9日）



熱海道場で當まれた尊師行勝院日達聖人23回忌法要（2007年1月9日）

6

7

グルジー御法話

青年よ、心の王者たれ

今日、キリスト教を信じている国々、アメリカ合衆国をはじめとして英國その他、みな戦争専門の国家になっています。キリスト教の名は使っておりますが、実は反キリスト教です。

マドラスで開かれた英國キリスト教徒の大会にガンディー翁が招かれたとき、「平和の子、イエスの言葉は今日ヨーロッパの人々の耳には入っていない。光は東方からさす。それは信念の光であつて、イエスの言葉が実行されることだが、それは東方の文明である」と申されています。

日本から農業の先生だの何だと、青年がインドに来て、いろいろやつておりますけれど、そういうことは抜葉末節でネ、インドの興廃にかかわる問題ではない。インドのことを樂じるならば、興廃を決する大問題を精神的な方面に求めなければなりません。

「これに協力するのが日本民族の義務ですがネ、それを取りあえちやう。みんなインドで渡世して喜んでいます。

藤井 日達

ガンディー翁の非暴力・不殺生の大戒を、今度はわれわれが協力して、民衆の中に盛り立てねばなりません。それをする人々がキリスト教徒であろうと、仏教徒であろうと、それが問題なのではない。

人を生かすか、人を殺すか、それが問題。そこに日本の民衆は平和の福音を説かねばなりません。キリストの名をもつて説いてもし、仏陀の名をもつて説くのもよい。それは教典を真面目に説けば、それらの教典にすべて説かれているものです。

宗教者が権力に迎合し、宗教を自分の生活の道具に使うから、役に立たないものに宗教がなってしまうんです。

今日、コングレスが信用を失ったのも、ガンディー翁の本当の精神を取り忘れたからです。

この取り忘れた精神的问题にわれわれは協力せねばなりません。米を送るの、お金をやるの、それはアメリカやイギリスがやればよい。彼らが戦に使うお金を使。それをこ

井19-1

日本文化の開拓者として、日本に日本文化を伝える、日本の文化を一千四百年養育して貢献された國士です。われわれ日本人

通りません。アマゾンで販売する本の中でも、最も人気があるのが「世界の歴史」です。この本は、世界の歴史を分かりやすく解説しているので、初心者の方にも読みやすくなっています。

アメリカ合衆国は名譽ある解決をします、などハナタ
ていい。間違いますね。
アメリカ合衆国は名譽ある解決をします、などハナタ
ムで言つていいが、人殺しはどう不名誉ないといふ。
やハヤキを使つはどう不名誉ないといふ。
つてみても、だれが同情しますか。だれが尊敬しますか。
これが現代の宗教を失つた、精神生活を失つた、生きた電
子計算機の間違いつづりのです。人間の世界ではいわれ

日本の国は一等国とか二等国とか、そして青年がで戦争に利かなかった。そしてワルダの塾は下層民の生徒です。

世界は他の問題の解決以外に、(1)の原子核時代の解決策にはない。このらの問題に和平的解決を与えるのが、日本民族でなければならない。日本の大使命を自覚しなければいけない。

族は精神的に脅力しなければなりません。今の日本には宗教なんて、仏教なんてないのです。みんな漢世ですね。金儲けを、それから偉そっうしてやるやうにしてます。ガンダム一翁が人類の前途を、非暴力で解決する、と書かれてます。これが夢かな夢だ、と思つたる。しかも「夢」だといつけて。精神の世界は何ですか? 画曰くあります。あなたの方も青年にして、この宗教團體に手を染められた。百姓すみませんが、工芸技術を学びましたからね。あれは、百姓すみませんが、死んだら死んだら、みんなお葬りに来ます。

【編集部注】本稿は、ハサウエーハーディーにて昭和四三年一月三日、現地奉仕活動をしていた日本の青年クリスチヤンの方々が宿舎に会長を訪ねて、ハサウエーハーディーにて奉仕する根本榮喜(根本栄喜)がいたときの歴史より、編集・掲載しました。

(本誌昭和四三年三月号より再掲)